

# いずみさの教育

NOW

問合先  
学校教育課

## 「泉佐野市の小中一貫教育」

小中一貫教育の目的は、小・中学校が連携して義務教育9年間の学びと育ちをつなぎ、子どもたちのよりよい成長を支えることにあります。

本市では、小・中学校の段差による生徒指導上の課題や学習面のつまづきなど、いわゆる「小中ギャップ」を緩和させ、子どもたちが安心して9年間成長し続けられるよう小・中学校が協力して教育を進めてきました。

そして、令和元年には「泉佐野市小中一貫教育基本方針」を策定し、これまで行ってきた小中連携教育を充実させ、小中一貫教育の実施に向けた取組を推進しています。

各中学校区の教職員で合同研修や話し合いを重ね、令和6年度には、各中学校区の小・中学校で「めざす子ども像」を共有しました。

今年度は、さらに「めざす子ども像」を共有する各中学校区の親しみやすい愛称を募集し、

一体感を醸成して、今後一層、小・中学校、家庭、地域全体で相互に連携・協力しながら子どもたちの未来のためにより良い教育活動を展開していきたいと思えます。

本市の小中一貫教育の取組や各中学校区の「めざす子ども像」については、市ホームページ（ID：8765）をご覧ください。

**小中連携教育：小・中学校段階の教員が、互いに情報交換や交流を行うことを通じて、小学校教育から中学校教育への円滑な接続をめざす様々な教育**

**小中一貫教育：小中連携教育のうち、小・中学校段階の教員がめざす子ども像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育をめざす教育**

## 学校園紹介

### 学校間交流会でのまなび ～日根野小学校～

日根野小学校区には、こども園から中学校、高校、支援学校とたくさんの学校や園があります。その中で、特に佐野支援学校との交流で、お互いの学校を訪問し、互いを知ることで仲間意識を育んでいます。1学期は4年生と6年生が支援学校を訪問し、2学期は支援学校の3～6年生が来校します。自己紹介をした後、ゲームや貼り絵などを一緒にしています。3学期には、2年生と4年生が支援学校の作品展を見学します。例年、4年生は交流会で仲良くなった友だちの作品を見つけ、工夫された作品に見入っています。



また3学期には日根野高校の吹奏楽部の生徒たちが来て、演奏会を開催します。午前は低学年、午後は高学年の2部制で、子どもたちの年齢に合わせた曲を披露したり、指揮者体験をしたりと盛りだくさんな内容で音楽の楽しさを教えてくれます。部員に本校の卒業生がいることから、新鮮な刺激を受けるとともに親近感もち、高校生になったら吹奏楽をやってみたいという子どもたちが毎年現れます。

これからも、身近にいる人の活動を知ること、子どもたちの豊かな心を育む取組にしていきたいと考えています。



### 出合いを大切に ～3年生の学習より～ ～長坂小学校～

長坂小学校は人権教育において「出合い」を大切にしています。子どもたちは学習内容に関する人に出会うことで学びを深めています。今回は3年生の取組です。

3年生では3学期に昔の暮らしについて学習します。何事においても便利になった現代の生活からはなかなか想像できない昔の暮らし。その中でも「七輪での火おこし体験」を地域の福祉委員さんたちの協力のもと行いました。新聞紙や木切れを木炭の下に敷き、火をつけるのですが、なかなかうまくいきません。それでも、子どもと福祉委員さんで協力して、うちわであおぎ何とか炭に赤い火がとりました。七輪で餅を焼き、ぷくっと膨らむと歓声が沸きました。一緒に餅を食べる姿は微笑ましい場面でした。

その後、教室に戻り昔の登校の様子や学校での勉強、家での手伝いの事など約60年ほど昔の生活について教えてもらいました。

人は様々な人に出会う中で成長していきます。直接出合い、話を聞くことで教室では得ることのない大切なものを心に感じるすることができます。また、様々な体験を通してその心を成長させていきます。

長坂小学校はこれからも出合いを大切にしたい人権学習を進め、未来へはばたく「ながさかっこ」を育成していきます。

